

20130411 小島提案

とよがわ流域県民セミナー
第 6 回講座 開催計画(案)

担当委員:井上、小島

1. テーマ：とよがわ流域の水利用計画

設楽ダム計画による新規水資源開発の容量は約 1,300 万立方メートルで、水道用水が $0.179\text{m}^3/\text{s}$ 、農業用水が $0.339\text{m}^3/\text{s}$ となっています。豊川水系における現在の水利用がどのようなものであり、将来どのようなようになると考えているのかについて県の計画について解説していただき、豊川水系の水利用について理解することを目的とします。

※水道用水については、上水道と工業用水に分けて説明していただきます。

工業用水については契約している工場の地域別分布・数・水量と実際の使用量(365日)など、水道用水については利用世帯の地域分布・数・実際の使用量(365日)などのデータ、渇水時の対策などについても解説していただきます。

※豊川水系の農業による水利用計画について説明していただきます。また、農地には、水田、畑、ビニールハウス等様々な形態があり、必要とする水の量や時期が異なります。農業において水がどのように利用されているかについても解説していただきます。

2. 開催概要

日 時： 2013 年 7 月

場 所： 未定

時 間： 13 : 00 ~ 16 : 30

内 容：

講師 1：上水道、工業での水利用 (愛知県土地水資源課)

講師 2：農業での水利用 (東海農政局)

3. 運営方法

セミナーの運営は、愛知県土地水資源課、東海農政局の担当者から、説明をいただき、説明に対する質問は、説明における不明な点を明確にすること(Clarification)とします。その際、説明された事項の内容を明確化するための質問の背景として異なる見解を有していることを説明することは良いが、異なる見解に対する回答は説明者には求めないこととします。

なお、愛知県土地水資源課、東海農政局と異なる視点からの水需要については、講師が得られるかを含めて別途セミナーでの講演を検討します。